

ARENEWS

文部科学省 理数学生応援プロジェクト「筑波大学 開かれた大学による先導的研究者資質形成プログラム」

2012.11 No.1

平成24年度 先導的研究者体験プログラム 研究発表会

平成24年度先導的研究者体験プログラムに採択された学群1～3年生が研究成果の発表を行います。プログラムへの参加を希望する学生さんだけでなく、他学類の研究を知りたい方も是非ご参加ください。学外の方も参加できます。日程は次のとおりです。

日時：2013年 1月 21日 (月)
10:00～17:00

会場：筑波大学 第三エリア 3A棟2階
3A204, 3A207, 3A209

対象：どなたでも参加可。事前申込み不要。
直接会場へお越しください。

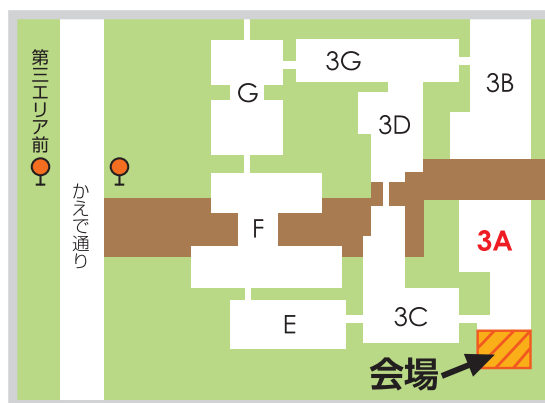


■プログラム

- 10:00 開会のあいさつ
- 10:05 口頭発表
インデックスプレゼンテーション
- 12:30 昼休み
- 13:30 ポスター発表
- 16:20 発表終了
- 16:35 講評
- 16:45 表彰式
- 16:55 閉会のあいさつ

<アクセス>

TX つくば駅 つくばセンター 6番バス乗り場より
筑波大学循環バス(右回り)または筑波大学中央行に乗車
第三エリア前下車



プログラムの詳細は決定次第、下記WEBサイトに掲載いたします。

先導的研究者体験プログラムWEBサイト

<http://www.esys.tsukuba.ac.jp/AC/RS/>

H24年度 申請および採択件数

申請42件、採択39件(44名)

【募集区分】 S：100万円以下、A：30万以下、B：15万円以下、C：5万円以下

募集時期毎の申請及び採択件数

第1期（申請件数：12件、採択件数：11件）11名

申請件数：種目S：1件、種目A：0件、種目B：4件、種目C：7件

採択件数：種目S：1件、種目A：0件、種目B：4件、種目C：6件

第2期（申請件数：12件、採択件数：12件）15名

申請件数：種目S：0件、種目A：0件、種目B：5件、種目C：7件

採択件数：種目S：0件、種目A：0件、種目B：4件、種目C：8件

第3期（申請件数：9件、採択件数：7件）7名

申請件数：種目S：1件、種目A：0件、種目B：3件、種目C：5件

採択件数：種目S：0件、種目A：1件、種目B：2件、種目C：4件

第4期（申請件数：9件、採択件数：9件）11名

申請件数：種目S：0件、種目A：0件、種目B：3件、種目C：6件

採択件数：種目S：0件、種目A：0件、種目B：3件、種目C：6件

発表者一覧	
S	微生物燃料電池に基づく微生物電気化学系の広汎的応用技術の開発 生命環境学群 生物資源学類 3年 返町 洋祐
A	妊娠高血圧マウスのカルシウム拮抗剤による改善効果の検討 生命環境学群 生物資源学類 3年 徐 昊珺
B	1,3,5,7-テトラアザクバンの全合成 理工学群 化学類 1年 薄葉 純一
B	BZ反応における振動の復活とそのメカニズムの解明 理工学群 化学類 2年 大久保 絢夏
B	可視光でみた双極子状態星状星雲の起源 理工学群 物理学類 1年 飯田 美幸
B	走査型トンネル顕微鏡内の回路の製作 理工学群 応用理工学類 2年 細井 舜, 愛敬 雄介, 山本 淳司, 北山 雄介
B	睡眠中の外的刺激によるREM/nREM睡眠周期の変化の観測 理工学群 工学システム学類 1年 杉浦 光, 2年 鋤先 星汰, 1年 進林 昂太
B	エマルジョン燃料で動作するジェットエンジンの製作 理工学群 工学システム学類 3年 加藤 由幹
B	クリプト藻のセレン要求性の解明 生命環境学群 生物学類 1年 丹野 晶博
B	<i>Chelonus inanitus</i> の産卵時におけるマーキング行動解析 生命環境学群 生物学類 3年 戸祭 森彦
B	微生物由来微小管阻害剤Plinabulinの結合部位同定 生命環境学群 生物学類 3年 大沢 和広
B	高等植物における環境ストレス耐性の強化 生命環境学群 生物資源学類 1年 高橋 昌宏
B	イネ品種NERICAの耐乾性および耐塩性に関する研究 生命環境学群 生物資源学類 1年 武井 瞳
B	埼玉県の農業用水路におけるイシガイ科二枚貝の寄生宿主と分布規定要因 生命環境学群 生物資源学類 3年 三浦 一輝
B	LASの自浄作用における分解 生命環境学群 地球学類 1年 三輪 圭吾

平成24年度 先導的研究者体験プログラム
研究発表会

C	一般的な体の上に定義された微積分の性質と物理学への応用の研究 理工学群 物理学類 1年 藤本 和馬
C	量子ドットを介しての量子輸送と量子エンタングルメント 理工学群 物理学類 2年 山本 敬太
C	量子ビームを用いた、原子核構造から見る宇宙元素合成の研究 理工学群 物理学類 3年 寺門 明紘
C	ダークマターハローの質量分布に関する研究 理工学類 物理学類 3年 結城 文香
C	プレーナー型の微細化MOS型シリコントランジスタ中の結晶欠陥の評価 理工学群 応用理工学類 2年 粟飯原 有輝
C	CUDAによるプラズマ2流体不安定性シミュレーションおよび可視化 理工学群 応用理工学類 3年 小田 弦之介
C	電気インピーダンス法を用いる頭髮の含水率測定に関する研究 理工学群 工学システム学類 3年 中澤 有理
C	仮想逆音源法を用いる低レベル音源探査に関する研究 理工学群 工学システム学類 3年 坂井 琢人
C	パラフォイルを用いた自律誘導制御に関する研究 理工学群 工学システム学類 3年 綿引 壮真
C	アメンボ・ヒメアメンボの個体群組成 生命環境学群 生物学類 2年 高橋 玄
C	静岡県下田沖における植物プランクトン群集組成の動態 生命環境学群 生物学類 2年 岡崎 拓未
C	幼少期の匂い体験が成長後に与える心理効果 生命環境学群 生物学類 2年 戸嶋 知春
C	ユビキチンリガーゼCul3-KLHL7複合体がユビキチン化する基質の探索 生命環境学群 生物学類 3年 遠藤 智之
C	ヌートリアの四肢長骨における骨端閉鎖順序について 生命環境学群 生物資源学類 1年 守屋 恵美
C	環境中からの新奇微生物の取得と微生物燃料電池への適用 生命環境学群 生物資源学類 1年 郡司 理紗子
C	保存環境の制御に基づく果実の高品位貯蔵法の開発と評価 生命環境学群 生物資源学類 1年 小柳津 延予
C	果実の高品位貯蔵法の導入による経済効果の推測 生命環境学群 生物資源学類 1年 谷口 未峰
C	二胡共鳴胴材料の振動特性の解明および持続可能な代替材料の開発 生命環境学群 生物資源学類 2年 陳 碩也
C	線虫を用いた老化に伴う代謝産物の定量解析 生命環境学群 生物資源学類 2年 徐 照
C	Sulf1/Sulf2遺伝子ダブルノックアウトの皮質脊髄路発生に対する影響の生後マウスにおける解析 生命環境学群 生物資源学類 2年 李 其育
C	マメ科植物ムクナ由来の神経保護様作用物質の探索 生命環境学群 生物資源学類 3年 坂東 侑哉
C	計算の状態を見ながらプログラミングできるプログラム導出システム 情報学群 情報科学類 2年 坂口 和彦
C	集中制御ディスプレイにおけるわかりやすい制御装置配列とは何か 情報学群 情報メディア創成学類 1年 村松 陽太郎
C	群知能を用いた空間文書管理アルゴリズムの開発 情報学群 情報メディア創成学類 2年 尾崎 嘉彦

以上、39件が研究発表会で発表いたします。



先導的研究者体験プログラムに関するご質問ご相談は上記事務局にお問い合わせください。

●第2回リサーチフェスタ2012 ご報告

平成24年8月31日(金)、つくば国際会議場にて、第2回リサーチフェスタ2012(主催：筑波大学、文部科学省、共催：つくば市)を開催いたしました。リサーチフェスタは、理数学生応援プロジェクト及び理数学生育成支援事業の取組に関係している28大学の学生が研究発表や活動報告を行う催しです。今年は、活動報告部門18件、研究発表部門26件の計44件の発表があり、約200人の参加者を得て盛大に行われました。審査の結果、本学の発表者全員が見事に入賞しました。

■つくば市長賞(総合点 第1位)

生命環境学群 生物学類 4年 本多 隆利

本多さんのコメント

この度は、このような名誉ある賞をいただき誠に光栄に存じます。研究を進めるにあたり、多大なご協力をいただいた筑波大学先導的研究者体験プログラムのスタッフの方々をはじめ、指導教官の古久保徳永先生、先輩や友人、家族に感謝の気持ちで一杯です。

今大会では、あらゆる研究分野の大学生が全国から参加し、審査は学生から専門家に至まで、様々な層の方々からの投票によって行われました。従って、私が取り組んできた研究の面白さや重要性が、分野や年齢といった垣根を超え、多くの方々にご理解いただけたと思うと非常に嬉しい限りです。

今回の表彰を新たな出発点として、より一層精進して参ります。



■ソフトイーサ賞(総合点 第2位)

生命環境学群 生物資源学類 3年 返町 洋祐

■金賞 理工学群 工学システム学類 3年 西田 惇

■銀賞 生命環境学群 生物学類 4年 小長谷 達郎

情報学群 情報科学類 2年 伊藤 剛浩

■銅賞 生命環境学群 生物学類 4年 藏満 司夢



●学長表彰

平成22年から平成24年の3年間AREに参加し、着実に研究成果を積み上げてきた 返町洋祐さん(生命環境学群生物資源学類 3年)は、これまでの研究成果が評価され、11月15日に筑波大学学長表彰を受けました。

返町さんのコメント

このたび学長表彰を頂いたことは、筑波大学の一員として光栄の至りです。これまでの学生生活において心血を注いできた研究活動を評価していただいた結果であると自負しております。また、現役のARE学生として表彰を受けたことで、この先進的な取り組みの意義を示すことに、僅かながらも貢献できたものと考えております。これからの一層、研究に精励して社会へ成果を送り届けると共に、後に続く学生達のための道を作る先導者になれるよう努める所存です。

最後に紙面をお借りしまして、AREスタッフの方々、ご推薦下さいました諸先生方、そして1年次から今日に至るまで多くのご指導をくださいました星野貴行先生に厚く御礼申し上げます。

